

# 体験型授業で学ぶ統計教育

実践女子大学 竹内 光悦

## 1. はじめに

近年、アクティブ・ラーニングなど、体験型授業展開が統計科学に限らず注目されている。本大会においても多くの研究者によって、その概要や事例報告があり、有意義な情報交換、情報共有がなされてきた。しかしながらこれらの動きは各々の研究者・教育者による活動報告であり、体系的かつ網羅的な視点では議論されていなかった。

そこで本報告では、統計教育に関する体験型授業を体系的かつ網羅的な視点で整理し、実際の授業での導入方法について提案する。

具体的には本統計学会統計教育委員会・同分科会等が主催してきた「統計教育の方法論ワークショップ」やその他の関連学会等でこれまでに紹介されてきた体験型授業の事例を題材にこのような形態の授業の分析を行い、導入方法を議論する。

## 2. 統計教育の方法論ワークショップにおける事例報告

日本統計学会統計教育委員会・同分科会が主催で「統計教育の方法論ワークショップ」を毎年3月に開催している。このワークショップは、2004年に第1回を統計数理研究所で開催され、その後も関係者の尽力もあり、継続して開催し、2015年3月には第11回が開催された。このワークショップでは、広く統計教育に関心をもつ関係者間の情報交換と議論の場を設けることを目的として開催され、研究者、教育者、学生、学校・教育関連関係者、と多数の人が参加され、研究成果の発表はもちろんのこと、国際的な統計教育研究者や文部科学省・政府統計の関係者による講演など、その年ごとにさまざまな情報発信が行われている。

本ワークショップにおいては、実際の授業での導入結果など、教育方法の事例報告がある。事例報告では、小学校、中学校、高等学校、大学、その他での事例報告が行われてきた。各回における報告数は右表のとおりである。

これらの報告事例の内容も多種多様であり、さまざまな授業に適用可能である。各報告事例の詳細については当日紹介し、今後の統計教育について検討を行う。

回	小学校	中学校	高校	大学	その他
第1回	1	3	1	2	0
第2回	2	2	1	1	0
第3回	1	1	1	3	1
第4回	0	4	2	1	1
第5回	1	2	2	2	0
第6回	4	4	1	0	0
第7回	2	3	1	2	0
第8回	0	4	3	1	1
第9回	1	5	2	2	1
第10回	2	2	2	0	0
第11回	2	3	4	0	0

本研究の一部はJSPS 科研費 23700342 の支援により実施している。